

## 研究情報の公開（オプトアウト）について

このページ以降では、国が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、当院で実施中の研究に関する情報を公開しています。通常、臨床研究を実施する際には、研究内容について事前に対象となる方（患者さん等）に文書または口頭で説明し、同意を得ます。しかし、対象となる方への侵襲や介入がなく、診療情報のみを用いた研究や、余った検体のみを利用する研究など、研究の性質によっては、対象者全員から直接同意を得ることが難しい場合があります。

このような場合、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に基づき、「研究の目的や内容を公開し、対象となる方が容易に知ることができるようにし、拒否の機会を保障する方法（オプトアウト）」を採用します。

ご自身の検体や診療情報が当該研究で利用されることを望まれない方は、その検体や情報を用いずに研究を実施しますので、該当する研究の「お問い合わせ先」へご連絡ください。なお、研究参加を拒否された場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

研究課題	施設名
「当院の VA 管理の現状と取り組み」の検討	東葉クリニック東新宿

※研究概要等については、次ページ以降をご参照下さい。

## 「当院の VA 管理の現状と取り組み」の検討

### 研究協力をお願い

医療法人社団明生会東葉クリニック東新宿では、当院の VA 管理の現状と取り組みを調査・検討する研究を行っております。調査の意義や目的、研究方法は以下の通りです。「オプトアウト」という手法により、患者さん皆様から直接の御同意は頂かず、このお知らせにより御同意を頂いたものとして扱われます。患者さん皆様方には研究内容をご理解いただき、本研究へご協力頂きますようお願い申し上げます。

もしこの研究への参加をご希望されない場合、また途中で研究参加を取りやめる場合、その他この研究に関する問い合わせは、下記の問合せ先担当者へお問い合わせ下さい。

#### 1, 研究の概要

研究対象者：2025 年 12 月末時点で当院に在籍する透析患者 194 名（入院患者 3 名含む）

#### 2, 研究の意義及び目的

施設全体の状況を把握する為、これまで患者ごとに管理していた VA 関連データを統合し、VA 管理データベースを作成します。このデータベースを活用してリスク評価を行い、VA トラブルの早期発見につなげ、当院の VA 管理の質向上を図ることを目的とします。

#### 3, 研究方法

本研究は後ろ向き研究です。2024 年 1 月～2025 年 12 月までの、VA データ（種類、造設歴、処置歴、機能評価歴等）と、年齢等の患者データを用いて VA 管理データベースを作成し分析します。

#### 4, 個人情報について

この研究に当たり、個人が特定できるような情報は分析時には使用しますが、研究発表時には使用されません。

#### 5, 問い合わせ先

医療法人社団明生会 東葉クリニック東新宿

担当者：鈴木渚（山崎祥太）

連絡先：0475-55-1501